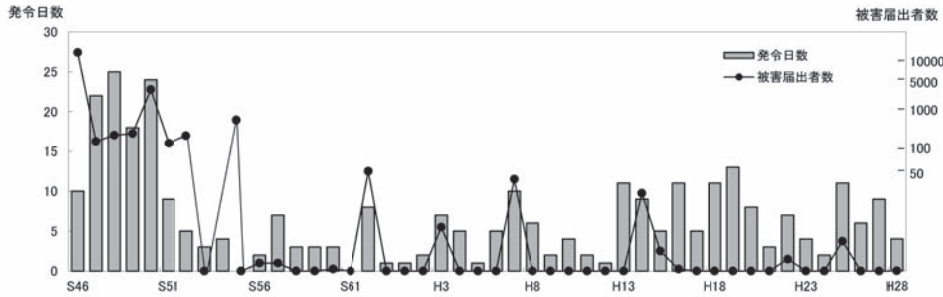


平成28年度光化学スモッグ注意報発令状況

市では、光化学オキシダントが高濃度になるおそれがある時期（4月～10月）に、監視体制をとっています。今年度、光化学スモッグ注意報*の発令日数は4日（7月：1日、4日、7日、14日）で、昨年の9日と比べて減少しました。なお、光化学スモッグによる健康被害の届出はありませんでした。今年度の発令状況は市ホームページで確認できます。

川崎市光化学オキシダント

*注意報発令基準：オキシダント濃度(1時間値)が0.12ppm以上であり、気象条件からみてその状況が継続すると認められるとき。



光化学スモッグ注意報発令日数及び健康被害者届出者数の推移

(注) 昭和47年度及び昭和50年度の発令日数は、光化学スモッグ警報発令日がそれぞれ1日含まれています。

問い合わせ：環境局大気環境課 TEL 200-2516 FAX 200-3922

大気中の放射線量モニタリング結果(平成28年11月)

市では、環境総合研究所（川崎区殿町）、中原大気測定局（中原区小杉町）及び麻生大気測定局（麻生区百合丘）で、建屋屋上及び当該測定地点の地表面付近の放射線量（ガンマ線）について測定を行っており、11月の測定結果は次のとおりです。

詳しくは市のホームページをご覧ください。

- 建物屋上…約0.02～0.04 マイクロシーベルト / 時間で推移（11月13日現在）
- 地表面付近（月1回測定）…測定結果は次のとおりであり、いずれの地点、高さにおいてもほぼ同じ数値で推移

単位：マイクロシーベルト / 時間

地表面からの高さ	環境総合研究所 (土・草地)	環境総合研究所 (アスファルト)	中原大気測定局 (アスファルト)	麻生大気測定局 (土・草地)
100cm・50cm・5cm	0.04～0.06	0.05～0.06	0.07	0.05

*マイクログレイ / 時間で測定した値をマイクロシーベルト / 時間に換算して表記しています。

※原子力規制庁によると、「緊急時は、1グレイ=1シーベルト」として換算します。

※神奈川県が川崎市内5か所に設置しているモニタリングポスト（地上約3m）の平成21年度（福島第一原子力発電所事故以前）の年平均値は、0.023～0.042 マイクロシーベルト / 時間でした。

市ホームページ： <http://www.city.kawasaki.jp/300/page/0000037968.html>

問い合わせ：環境局環境管理課 TEL 200-3495 FAX 200-3922

浮島埋立処分場における放射能濃度等測定結果(平成28年11月)

市では、ごみ焼却灰の埋立に伴い、廃棄物の最終処分場である浮島埋立処分場の敷地境界で空間放射線量（ガンマ線）の測定を行っております。また、埋立処分場の内水等の放射能濃度（放射性セシウム濃度）についても測定を行っており、11月の測定結果は次のとおりです。

詳しくは市ホームページをご覧ください。

- 埋立処分場空間放射線量（連続測定）…0.043～0.056 マイクロシーベルト / 時間で推移（11月13日現在）
- 埋立処分場の内水等…測定結果は次のとおり

単位：ベクレル / l

	測定値	基準等	測定頻度
埋立処分場内水	2.0～2.3 (検出下限値：1.0)	国の目安値 75 本市の管理目標値 10	週1回
放流水	2.1～2.6 (検出下限値：1.0)	国の目安値 75 本市の管理目標値 10	放流時
外海水	不検出 (検出下限値：1.0)		放流時

※上記掲載の測定値は、10月16日から11月15日までの期間に測定したものになります。

市ホームページ： <http://www.city.kawasaki.jp/300/page/0000045121.html>

問い合わせ：環境局処理計画課 TEL 200-2590 FAX 200-3923